



## 県版GAP審査に挑戦



農業を鍵付きのロッカーで管理し盗難などを防止

県版GAPの更新審査が11月11日から3日間行われました。JAブランディング米部会と(有)ドリフアー花泉の14人から抽出した4人が、現場確認と書類審査を受けました。審査では、作業場が整理整頓され食品が汚染されるリスクがないか、チェックシートに記載漏れがないかなどを確認。審査結果は、12月に発表になる予定です。

審査を受けた佐藤孝一さん(一関)は、「消費者に安全で安心な米を届けたい。そのためにも、重大な事故を起こすリスクを減らせるように継続してGAPに取り組んでいきたい」と意欲を見せました。